

2月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校

平成31年1月16日

校長だより



「幸運を呼ぶ」

校長 上澤 司

平成の終わりでもあり、新しい年号の始まりとなる2019年が明けました。皆さんはどんな冬休みを過ごしましたか？「お年玉をもらったよ」「クリスマスプレゼントはね～」と子どもたちの元気で弾んだ声が今日もたくさん聞こえてきて、嬉しく思います。

さて、どの御家庭でも新年をおせち料理で迎えたことと思います。おせち料理を始め、年末年始に食べると良いとされている日本の料理には、縁起のよい食材による、開運や健康、長寿、家内安全などにちなんだ知恵が集まっていることは、12月の本校献立表でも御覧になったとおりです。



この新年を縁起のよい料理で祝う習慣は世界各地にあるようです。スペインでは大晦日の夜中に鳴り響く鐘の音に合わせて、12粒のブドウを食べます。ちなみに“12”という数字は1年の12か月を表しており、新年もよい年になるように願いがかけられています。ブラジルでは米とレンズ豆のスープを食べます。レンズ豆が富と繁栄を招く縁起物とされていて、食べた分だけ金持ちになれるとか。レンズ豆のおかずに入れた金貨を入れて当たった人の幸運を祝福する習慣もあります。フィリピンには、金貨の形である丸いものを食べることで1年間お金に困らないという言い伝えがあります。1年の12か月を表すように、メロンやオレンジなど12種類の丸い食べ物を並べます。また大晦日には、丸い形である水玉模様の服を着て家族で食卓を囲む風習もあるそうです。

世界中の皆さんと同じように、私も今年1年の学校生活の安全と教育活動の充実を祈り、スタートを切りたいと思います。皆様にとっても幸せな1年が過ごせますように。

お知らせ

うみねこ学園長から、学園の移転改築事業についてお話がありました。

内容は、2020年4月に、現在の松館地区から八戸市鮫町にある「旧八戸南高校ラグビー場跡地」（シーガルビューホテル近く）へ移転するということです。

移転改築の主な理由としては、①施設の老朽化への対応、②生活環境の改善（集団生活から小規模ユニット型へ）、③児童生徒の生活時間の安定（八高支生徒の5時半起床を1時間遅らせることができる）です。

詳細については、後日うみねこ学園から情報提供があると思いますので、それまでお待ちください。